企業の脱炭素化をビジネス成果につなげる

株式会社メンバーズ　会社紹介

DX現場支援で顧客と共に社会変革をリードする

Members

©2024 Members Co., Ltd.

会社概要

社名	株式会社メンバーズ （英文名称：Members Co., Ltd.）
所在地	東京本社 〒104-6037　東京都中央区晴海1丁目8番10号 晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーX 37階（受付35階） ・東京本社　・名古屋オフィス ・札幌オフィス　・鯖江オフィス ・ウェブガーデン仙台　・大阪オフィス ・神田オフィス　・ウェブガーデン神戸 ・五反田オフィス　・ウェブガーデン北九州 ・武蔵小杉オフィス　・福岡オフィス
設立	1995年6月26日
資本金（連結）	1,057百万円（2024年3月末時点）〔IFRS〕
社員数（連結）	2,806名（2024年3月末時点）
売上収益（連結）	20,467百万円（2024年3月期実績）〔IFRS〕
証券コード	2130 東京証券取引所 プライム市場
業務内容	デジタル人材の伴走によるDX現場支援事業

MISSION

“MEMBERSHIP”で、心豊かな社会を創る

VISION2030

日本中のクリエイターの力で、
気候変動・人口減少を中心とした社会課題解決へ
貢献し、持続可能社会への変革をリードする

JCLP
日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）加盟

再エネ100宣言 RE Action
2020年度以降
再エネ100%を継続

Generative AI Japan

NADESHIKO BRAND 2023
「なでしこ銘柄」令和4年度に選定

プライバシーマーク 10820382
JIC No.1405－ISO/IEC 27001
ISMS-AC ISMS

©2024 Members Co., Ltd.

メンバーズが注力する5つのDX専門領域

デジタル現場へのPMO支援を通じて、顧客のDXを加速。
5つの専門領域に特化し、デジタル投資のROIを最大化させる

領域特化型PMOサービス

ビジネス成果に直結する5つのデジタル領域に
専門性を持ったPMOが伴走。実行性のあるDXを推進します。

1.営業・デジタルマーケティング

集客からCRM領域まで、マーケティングテクノロジー導入・利活用、オペレーションモデルの構築、顧客起点の改善活動を通じて、組織変革・事業成長支援サービスを提供。

2.アプリ・デジタルサービス開発

“開発現場から世界を変える”をコンセプトに、モダンテクノロジーを活用したデジタルプロダクト・アプリの開発、ローコードによる業務システムの効率化などを提供。

3.顧客・自社のデータ統合利活用

データ活用戦略から分析基盤構築、運用定着化までを支援。「データ領域特化型のプロフェッショナル常駐サービス」を提供。

4.WEB制作/運用UI/UX

長年培った独自の運用メソッドに基づき、生成aiやヘッドレスを活用したWeb運用業務のコスト削減、顧客起点のUI/UX設計など、運用業務の変革・モダニズム化を提供。

5.脱炭素DX

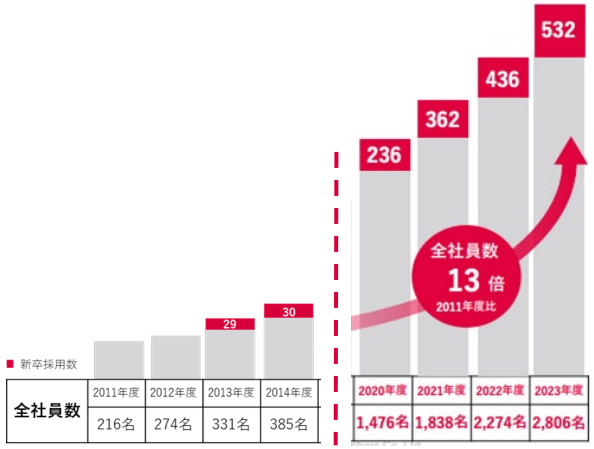
気候変動問題をビジネスで解決するために、GHG排出量を「はかる」「減らす」「稼ぐ」の3つの視点から様々なソリューションをワンストップで提供。

©2024 Members Co., Ltd.

メンバーズの強みの源泉

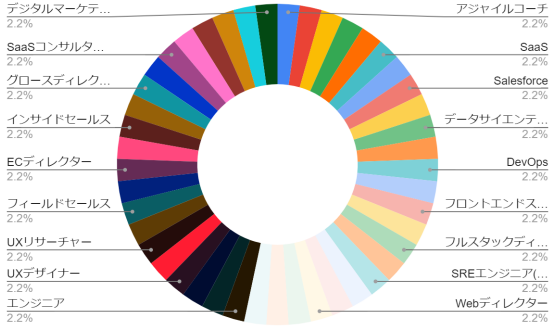
1.MVVS経営の実践で得た「採用力」

- 人材難の市場においてMVVSに共感した学生が毎年大量のエントリー。
- その中から選抜した即戦力候補を「全員」正社員新卒採用。
- 高専卒採用計画ランキングでメンバーズが1位を獲得。（2022年度）
- 中途採用はスキル以上に、MVVSの共感と人柄を最優先に選定。
- 新卒過多にならぬよう一定割合に基づく戦略的採用計画を実施。



2. 「育成投資」と「独自の育成制度」

- 年間数億円を専門スキル育成に投資。事業戦略の最重要指標に。
- 成果向上に必要な職種を50個定め、認定職種制度（タレント制度）の運用。
- 職種ごとのコミュニティ＝ギルド制度による社員同士のスキル研鑽推進。
- 若手社員の早期戦力化のためNPOやスタートアップ企業への留学OJT制度の運用。



3.カンパニー制による「専門性」の追求

- 業種軸、専門スキル軸、サービス軸、CSV軸などデジタルクリエイターが今後必要とされる領域に対して、専門カンパニーを順次設立。
- カンパニーによって輩出される専門特化型人材を活かし、束ね、チームとして成果を最大化することを徹底。
- 社長公募による抜擢型人事で、事業成長意欲とラストマン精神を持った社員を積極登用。（新卒でも社長に）

専門領域カンパニー数21社※
今後もさらに設立予定。

※2024年4月時点

©2024 Members Co., Ltd.

デジタル人材専任チームによるご支援実績

大手企業から多様なベンチャー企業まで、お客様に合わせて
デジタル人材を「専任チーム化」。ビジネス成果向上を追求しています。

大京	トヨタコネクティッド	ベネッセコーポレーション	Sansan	東芝デジタルマーケティングイニシアティブ
味の素	パナソニックグループ	スカパーJSAT	ベルフェイス	センシンロボティクス
三井住友カード	ジェーシービー	KDDI	mediba	プレイド
WOWOW	トレンドマイクロ	集英社	ファッション･コ･ラボ	オプト
楽天	ANA X	スターツ出版	ラクスル	デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム
資生堂グループ	野村證券	オイシックス・ラ・大地	トラストバンク	ランドネット
良品計画	横河電機	読売新聞東京本社	AOKIホールディングス	PinT
みずほ銀行・みずほフィナンシャルグループ	SBI新生銀行	ヤマハ発動機	マネーフォワード	WASSHA

※ 一部のみのご紹介、敬称略、順不同

©2024 Members Co., Ltd.

脱炭素をビジネスチャンスに繋げる3つのサービス

気候変動問題をビジネスで解決するために「はかる」「減らす」「稼ぐ」の3領域においてデジタルを起点に新しい価値を創出していきます。

―はかる―
サステナビリティ業務改善、排出量算定、社内浸透支援

排出量の可視化プラットフォームの効率的な運用や業務改善、LCA算定、独自算定システムの開発、GX人材育成・社内浸透策などを通じて、サステナビリティ経営実現に向けた基盤作りを支援します。

―へらす―
サプライチェーン、デジタルチャネルの脱炭素化

サプライチェーン全体の脱炭素化に向けた戦略立案。実行支援及びサステナブルWebデザイン、広告出稿の脱炭素化など、企業活動のあらゆるチャネルにおける脱炭素化を支援します。

―かせぐ―
脱炭素マーケティング＆プロダクト開発支援

環境に配慮した製品・サービスの販売促進および、デジタルテクノロジーを活用し、環境に配慮した製品・サービスの開発・運用支援することで、「脱炭素」の取り組みを企業の収益貢献に繋げます。

各領域ごとに「プロジェクトマネジメント力×カーボンリテラシー」を持つGX人材がクライアント先に常駐型で対応。

©2024 Members Co., Ltd.

脱炭素化プロセスから見る「脱炭素DXソリューションラインナップ」

はかる　減らす　稼ぐ

脱炭素経営デザイン

Solution #1
排出量データの算定・可視化
- 商品毎の排出量算定（LCA）支援
- 企業・商品毎の排出量算定（LCA）支援
- サステナビリティ関連業務の改善

Solution #2
循環経済モデルによるサービス開発・運用
- サーキュラーデザイン（商品開発）
- サーキュラーデザイン（ビジネスモデル）
- サーキュラーデザイン（業種業界横断）
- アジャイル型PoC支援

Solution #3
企業情報発信・CSV
- サスティナビリティサイト企画・制作・運用
- CSVマーケティング立案、実行

Solution #4
カスタマーエンゲージメント・脱炭素マーケティング
- 脱炭素デジタル広告
- 共創コミュニティ企画・制作・運用
- サステナビリティキャンペーン
- カーボンフットプリント利活用

Solution #5
社員・取引先に向けた意識改革
- 社員教育SDGsプランナー育成
- サーキュラーデザインワークショップ
- 脱炭素ポータル企画・制作・運用
- 脱炭素関連AI 化推進
- 社員を巻き込む脱炭素アクション

Solution #6
社内基盤、脱炭素システムのリデザイン・構築・運用（DX）
- システム開発要件定義
- ノーコード・ローコードシステム構築
- AI利活用
- 社員で取り組む脱炭素アクション
- サスティナブルWebデザイン

Solution #7
サプライチェーンリデザイン
- サーキュラーデザイン
- 組織体制整備支援
- サプライチェーン共創支援
- サーキュラーガイドライン策定

Solution #8
合理化・システム化・データ収集
- 脱炭素DXデータ連携
- LCA算定内製化支援

Solution #9
scope3削減コンサルティング
- サプライヤー一次データの収集
- サプライヤーエンゲージメント

持続的な売上向上

排出量・コスト削減

デカップリングの実現

©2024 Members Co., Ltd.

GX人材候補（例）

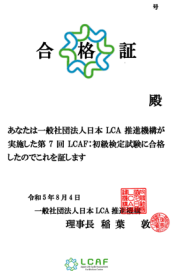
“脱炭素リテラシーの高い”
プロジェクトマネージャーが
成果向上に努めます。

略歴	
20年7月～22年7月	大手ECサイト様に常駐。サイトの戦略策定から運用を通じて成果向上を支援。
22年8月～9月	EMC推進室に異動。CSVの社内推進を担う。
22年10月～3月	S&M本部EFグループに異動。弊社専務執行役員と共にWeb3.0領域における新規事業開発を担当。
23年4月～現在	脱炭素DXカンパニーに異動。

GX人材

脱炭素リテラシー

①理工/農学系高等教育において、世界で相互認証されている
　JABEEプログラム修了
②LCAに関する資格「LCAF初級」
　を保有
③SuMPOなど専門機関研修を受講
④立命館大学「LCA基礎講座」
　修了



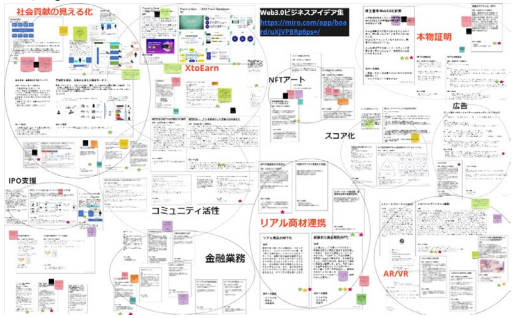
顧客横断SDGsプロジェクト

バレンタインをきっかけに、社会課題にユーザーと共に取り組む施策を、顧客企業の**営業部・EC制作部・サステナビリティ部**を横断するプロジェクトとして実行。

ブランド訴求と購買率が同等でありながら、運営会社への印象を6割アップさせる成果を残した。

社外との事業開発プロジェクト

上場企業16社を集め、Web3.0での新規事業を目指す「Web3.0 Business Initiatie Lab」を事務局長として運営。社会課題解決を含めた30以上のアイデアは、弊社新設カンパニーに引き継ぎ、PoC検討中。



SDGsプランナー社内育成

現場で働く社員自身のCSVの理解が、クライアントの価値向上につながることから、延べ200人以上の研修を実行。満足度は4.2/5点で実務に生かせる点が評価された。

©2024 Members Co., Ltd.

自治体さまとの取引事例（例：北九州市）

目的：北九州市地球温暖化対策実行計画に掲げる目標を官民の共創で達成するため、戦 略的な広報による普及啓発を行い、
家庭における脱炭素ライフスタイルの定着及び **企業における脱炭素経営の具体的な取組の推進**を図ることを目的とする。

期間：契約締結日から令和４年３月３１日までとする。　※契約締結日は令和3年10月25日

委託業務内容：

№	業務名	委託内容
（1）	広報プロデュース業務	専門的知識や豊富な実践経験を有する人材により、脱炭素に関連する様々な活動 を総合的に調整し、マーケティングの視点を重視した的確なターゲット選定及びタ ーゲットに応じたアプローチ手法の選定等による戦略的な広報を統括する。※ 若年層向けに本市の環境政策を効果的にPRするため、本市の環境マスコットで ある「ていたん＆ブラックていたん」を活用した広報も検討すること。
（2）	オンラインセミナー等の実施・運営	脱炭素に関心のある層の繋がりの強化・維持及びコミュニティ化を図るため、脱 炭素に関する有識者を招いたセミナーや、脱炭素に資するワークショップ等をオン ラインにより3回程度開催し、各回の企画提案、集客支援、当日の運営を行う。※ 謝金、交通費等講師派遣に係るすべての費用は受託者が負担すること。
（3）	ポータルサイトの開設、維持及び更新	本市の脱炭素関連事業をはじめ、国・県・企業・団体等における補助制度や取組事 例等、多様なステークホルダーによる脱炭素に資する活動等の情報を集約して発信 するための脱炭素ポータルサイトを新たに開設する。また、本事業で実施するオン ラインセミナーのレポートや各ステークホルダーの取組記事等、本事業の趣旨に沿うコンテンツを作成するとともに、同ポータルサイトの維持及び更新（修正を含む）を行う。※ 令和3年12月24日までに公開すること。※ 新たなコンテンツを月3回程度作成し発信すること。

オンラインセミナー　x　３回
ポータルサイト開設

基本更新

セミナーレポート更新

その他更新

©2024 Members Co., Ltd.

自治体さまとの取引事例（例：大分県）

■基本コンセプト

「関係人口創出型広報」の確立

前年度の活動の中で「関係人口」というコンセプトがつかめました。県外広報における双方型のリアルなコミュニケーションを志向する本事業において、このコンセプトは本質的であり、あらためて基本コンセプトに位置付けたいと思います。

■基本方針

プロモーションの戦略化

「関係」を楽しむ

前年度に弱かった若者層
（本来はアクティブ）をターゲットに、具体的には
県内の学生を巻き込んだ展開とする。
ワクワクする関係をみんなで作る

コンテンツ（オウンドメディア）の方向性

「関係」を実らせる

出会いの旅「ミーティングツアー」から、
関係を実らせる「エリアプロジェクト」
に移行させて、
メッセージを明確化させる。

結果の把握 成果の構築

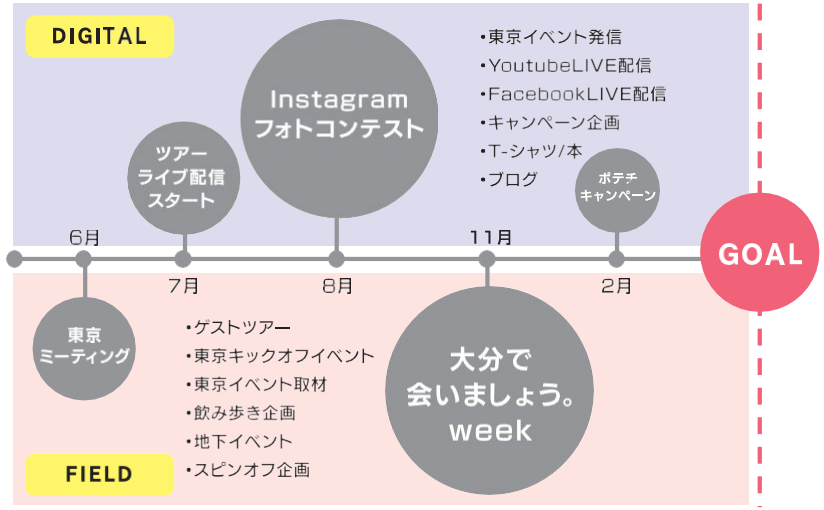
「関係」を見える化する

関係人口の数値化のために新たなツールを導入。
広く双方向のコミュニケーションを
確立するために
手法として試行したい。

■平成30年度のふりかえり

多彩なゲストを招いたミーティングツアー

多様なアプローチを試みたSNS展開



ファン ・・・・・・・・12,000人
フォトコン・・・2,000人参加

地下イベント・・400人参加
大手メディア掲載 ・・・・・3件

オウンドメディアでの多角的な発信

新しい空間メディアを開発した大分イベント

うれしい剽窃

©2024 Members Co., Ltd.